



講師の石井広太郎先生

9月26日(木)、石井広太郎先生(福岡県・飯塚病院歯科口腔外科部長)を講師に、歯科研究会「顎関節症と顎関節疾患」をアバンセとオンライン配信を併用して開催しました。会場は8医療機関から8人、オンラインでは45医療機関から50人の参加がありました。以下参加者からの報告です。

顎関節症と顎関節疾患

歯科研究会

この度は飯塚病院歯科口腔外科部長の石井広太郎先生によるセミナーを、アバンセの会場にて聴講させていただきました。顎関節症について以前は苦学意識がありました。顎関節の内部は直接見る事ができないために、理解度への不安を常に抱いています。この度の石井先生の講演は、顎関節症の知識を深める良い機会となりました。特に、内視鏡で直接見る顎関節の様子は、エックス線写真やMRI画像から想像していたものとは異なりとても新鮮でした。まるで、先生と一緒に顎関節の中をのぞき込んでいるような感覚で、自分の知識と照らし合わせる事ができました。

「参加者アンケート」
・なかなか勉強しづらい部分なので大変勉強になりました。
・基本的な解剖学知識から最新情報、最先端の情報までダイジェストで知ることができてとても良かった(勉強になりました)。
・一般開業医として開業量、症状のどのタイミングで専門医に紹介したらよいかがとてもわかりやすかったです。
・難しい話かと思いましたが、非常にわかりやすい話で勉強になりました。またお話があったら楽しそうに勉強させて頂きたいです。
・時間が足りないと感じました。第2弾をお願いいたします。

12月以降も健康保険証が使える

政府は、12月から現行の健康保険証の新規発行を停止し、マイナ保険証に切り替えようとしています。患者さんの中には健康保険証がすぐに使えなくなるとの誤解も広がっています。保険医協会では、医療機関での資格確認方法をまとめました。こちらでご確認ください。

- 同封のニュース紙
- 保険医協会のHP(佐賀県保険医協会トップ→ニュース→2024年12月以降の資格確認について)

(右QRコードからもご覧になれます)



保険証存続を訴える天島大輔議員(写真中央)

交・社会保険重視の政治の4つをスローガンとして開催された。医療・介護・福祉従事者の大幅増員・大幅賃上げを、診療報酬・介護報酬の再改定を、医療・社会保険費を増やせ!患者・利用者への負担増ストップ!③保険証のこせ!保健所増やせ!地域の医療・介護までも!④軍事ではなく外交・社会保険重視の政治の4つをスローガンとして開催された。その後74通の賛同メッセージから、日本医師会と日本歯科医師会の会長メッセージが報告された。国会議員は、日本共産党から小池晃議員が、さつされた。一緒に伊藤岳議員、倉林明子議員も登壇した。立憲民主党からは吉田統彦議員(当時、杉尾秀哉議員が登壇し、杉尾新選組からは天島大輔議員が登壇し、いさつされた。どの議員も政府が推進する保険証廃止について厳しく批判し、総選挙での政権交代を訴えた。石川県の国立病院機構七尾病院の石川さんより報告があった。各分野からの訴えでは、二村哲保団連理事(歯科医師)が医療現場の現状を報告、看護現場から山口氏が看護師の人員不足を訴えた。介護現場からは森氏がそれぞれの立場から現状を訴えた。皆が医療・介護・福祉の現場で賃上げが必要で、保険証を残すことの重要性を訴えた。アピール案は前述の4つのスローガンで賛同が得られ、労働者に向かって行った。最後に住吉憲勇団連名誉会長が閉会あいさつを行い、参加者は現地で2400人、WEBで2000人以上と、今回の総行動の成功が報告された。14時40分からは、現地参加者はバレードに参加した。保険証廃止こそ百害あって一利なし、「いのちまもる」ために、健康保険証を残す以外はないことを確認した集会であった。(常任理事 千葉 研介)

9・26いのちまもる総行動

9月26日(木)13時から「医療・介護・福祉に従事者の大幅増員・大幅賃上げを、診療報酬・介護報酬の再改定を、医療・社会保険費を増やせ!患者・利用者への負担増ストップ!③保険証のこせ!保健所増やせ!地域の医療・介護までも!④軍事ではなく外交・社会保険重視の政治の4つをスローガンとして開催された。その後74通の賛同メッセージから、日本医師会と日本歯科医師会の会長メッセージが報告された。国会議員は、日本共産党から小池晃議員が、さつされた。一緒に伊藤岳議員、倉林明子議員も登壇した。立憲民主党からは吉田統彦議員(当時、杉尾秀哉議員が登壇し、杉尾新選組からは天島大輔議員が登壇し、いさつされた。どの議員も政府が推進する保険証廃止について厳しく批判し、総選挙での政権交代を訴えた。石川県の国立病院機構七尾病院の石川さんより報告があった。各分野からの訴えでは、二村哲保団連理事(歯科医師)が医療現場の現状を報告、看護現場から山口氏が看護師の人員不足を訴えた。介護現場からは森氏がそれぞれの立場から現状を訴えた。皆が医療・介護・福祉の現場で賃上げが必要で、保険証を残すことの重要性を訴えた。アピール案は前述の4つのスローガンで賛同が得られ、労働者に向かって行った。最後に住吉憲勇団連名誉会長が閉会あいさつを行い、参加者は現地で2400人、WEBで2000人以上と、今回の総行動の成功が報告された。14時40分からは、現地参加者はバレードに参加した。保険証廃止こそ百害あって一利なし、「いのちまもる」ために、健康保険証を残す以外はないことを確認した集会であった。(常任理事 千葉 研介)

協会会員数

医科	652人
歯科	328人
合計	980人
(9月30日現在)	

主な記事

- ・第10回 歯の供養祭……………2面
- ・第39回 保団連 医療研究フォーラム……………2面
- ・法律相談「フリーランス保護法」とは……………3面
- ・労務管理「介護離職をいかに防止するか」……………5面
- ・経営税務「令和6年度年末調整の留意点」……………6面

曙

この欄は「曙」と命名されています。太陽が昇り始め、明るくなる頃です。全国保険医新聞では、この欄は「羅針盤」です。進むべき正しい方向を示すという思いがこめられています。名前が付けられています。身近で発行されている新聞を見てください。朝日新聞では「天声人語」です。天声人語は、新聞社の造語であるとのこと。読売新聞の「編集手帳」はそのもののスバリだと思われまます。毎日新聞の「余録」は本文に対する謙譲の意味を含めた名称です。佐賀新聞の「有明抄」は有明海に面した地名です。西日本新聞と日本経済新聞の2紙は、「春秋」と同じ名称です。春秋は、この場合1年を意味して、また変化を表すこと、この欄の記事は社説ではありません。取り上げられる題材やテーマは書く人の自由です。文章の区切りは「▼」などであり、句読点や接続詞は使われていないことが多いです▼印象に残っているのは朝日新聞の天声人語の文章を「言い出しつべ」にしたいとの執筆者の扇谷正造さんの言葉です。扇谷さんという「言い出しつべ」とは、少し分かってきたことを最初に気付き指摘すること、まだもやもや言葉として表現することと思われまます。私たちがこの欄でそうした文章を作りたいと思います。(ペンネーム 新太郎)